

〈 家 庭 数 〉
保 護 者 の 皆 様
教 職 員 の 皆 様
地 域 の 皆 様

世 田 谷 区 立 千 歳 小 学 校
学 校 運 営 委 員 長
P T A 会 長
校 長
単 位 P T A 研 修 委 員 長

平成 29 年度学校運営委員会・単位 PTA 合同研修会ご報告

平成 29 年 9 月 13 日、千歳小学校体育館にて学校運営委員会と合同で単位 PTA 研修会が開催されました。
多くの先生方や地域の皆さま、保護者の皆さまにご参加、ご協力いただき、心よりお礼申し上げます。

今年度は『特別の教科 道徳』についての研修会 子どもと向き合う道徳～「おもいやりの心」を育むために～をテーマに、前文部科学省初等中等教育局教育課程課長 合田哲雄氏に講師としてお越しいただき、講演会を開催しました。
以下に内容の一部をご報告させていただきますので、当日参加されなかった皆さまにも、参考にいただければ幸いです。

子どもと向き合う道徳～「おもいやりの心」を育むために～

～子どもたちに、情報化、グローバル化や人工知能(AI)の進歩など急激な社会的変化の中でも未来の創り手となるために必要な知識や力を確実に備えることのできる学校教育を実現する～

◆学習指導要領改訂の背景◆

①「ディープラーニング革命と日本の学校の良さ」

今回の人工知能 AI の飛躍的進化はディープラーニング革命と言われ、人工知能自身が自ら独立して、構造的に理解をして思考できるというのが、新しい成果とされています。しかしその一方で、日本の学校教育の良さというものをあらためて再認識するチャンスではないか、ということです。



②人間としての強みを活かした職業

目の前の子どもたちの働き方は確実に変わるということです。答えが一つに限らない課題について、他人の頭の中にあるアイデアや知識などを活用し「納得解」を生み出すことが求められるようになるのです。

③人工知能に目的をあたえるのは人間

人工知能がいかに進化しようとも、その目的を与えるのは人間です。刻々と変わる状況の中で、その目的を組み替えたり、捉えなおしたり、再構築したりするのは AI ではなく、まさしく人間の力なのです。その中で道徳を教科化する事は、子供たちが本質的な問題に向き合い、問題解決にむけて、答えが一つではない課題に新しい価値を生み出す資質・能力の育成に、道徳教育が大きな役割を果たす必要があると考えました。

◆「道徳の教科化」の二つの課題◆

1. 量的な確保：年間35単位時間が確実に確保される

2. 質的な問題：子供たちが道徳的価値を理解し、これまで以上に深く考えてその自覚を深める

道徳に向き合う時間も大切ですが、それ以上に「考える道徳、議論する道徳」により児童生徒の道徳性を育む、質的転換が重要になってきます。

◆学習指導要領の改訂について～全ての教科における具体的なポイント～◆

今回の学習指導要領の根底には人間性があり、「道徳的価値と道徳的な判断の葛藤」が生じます。



道徳的価値と道徳的価値が衝突する、正解のない問いに向かい合わなくてはならず、正解はないけれども、自分の問題として考えることです。このような葛藤について真剣に向き合うことが重要で、是非ご家庭で子どもたちと教科書をご覧になって、大人でも迷うような正解の無いことについてお話ししていただきたいと思っております。

今回の3月の学習指導要領改訂においては、すべての教科に以下三つの目標があります。

①知識、技能、②思考力、判断力、表現力、③学びに向かう力、人間性を育成すること

道徳教育の目標に基づき、より良く生き抜くための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習を通して道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育てるとしています。今回の学習指導要領においては、全体の構造の中での学びに向かう力、人間性を土台にしながら道徳的な課題について総合的な判断をする力を育もうとしていると言えるでしょう。

◆質疑応答◆

質問1：

授業では教科書を使い、「ねらい」を教えるのですか？

⇒教科書以外にも郷土の資料や新聞記事といったような様々な「教材」を使用していると思いますが、さらに積極的に活用していただければと思います。



参加人数 97名 (うち教職員 32名)

質問2：

道徳観は人それぞれ違うのに、画一的に教えるということになるのではないかと心配です。

⇒前者は全くその通りで、もともとこの道徳の特別教科化に関する中央審議会の中でも「特定の価値観を教え込む」ということは『道徳教育』とは対極にあると思っています。人のものを盗んだり人を叩いたりといった「してはいけないこと」という基本的なことを教えるのも大変大事です。しかし社会構造の中で「自分の問題として道徳的価値を考えること」は、画一的に教えるということとは対極にあると思っています。

パブリックコメントとしていただいた子どもの意見の中に「正解がないから」「自分の思ったことが言えるから」道徳の時間が好きというのがありました。そういった子に対して、もう一歩深く「道徳的価値」について自分のこととして考えてもらうというのがこれからの道徳だと思っています。

質問3：

評価する側によって評価の基準や指標が違ってくるのではないのでしょうか？

⇒観点評価、つまり他者と比較するための評価ではありません。「こっちに有利」「こっちに不利」という評価ではなく、一人一人の子どもの中で成長の評価になります。

講演内容を詳しくまとめた報告書をご希望の方は、単位PTA研修委員までご連絡ください。